

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、片貝川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた昭和44年8月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



- 片貝川水系では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。

【短期】流下能力不足解消のため、片貝川、布施川の整備を実施する。

布施川ダムにおける事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。

【中期】布施川の中陣橋の架替によるボトルネック部の解消する。

【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。

- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	片貝川および布施川の整備（河床掘削、堤防整備、橋梁架替、頭首工改修等）	富山県	河川改修により流下能力の増		
	布施川ダムにおける事前放流の実施	富山県	橋梁掛替によりボトルネック部の解消		
	砂防関係施設の整備	富山県			
	森林整備・治山対策	富山森林管理署 富山水源林整備事務所 富山県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組（防災指針策定など）	魚津市 黒部市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水浸水想定区域図の作成、避難訓練への住民参加促進及び住民参加等	富山県 魚津市 黒部市 住民			
	水位計・監視カメラの活用	富山県	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		

【事業費（R6年度以降の残事業費）】

- 河川対策
全体事業費 32.4億円※
片貝川の整備 等
- 砂防対策
砂防堰堤、擁壁工 等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を
踏まえた
さらなる対策を
推進